平成 26 年 5 月 12 日

各　　位

会 社 名　東 京 製 綱 株 式 会 社
代表者名　取 締 役 社 長　蔵 重 新 次
（コード番号 5981 東証第 1 部）
問合せ先　常務取締役執行役員総務部長　佐藤和規
（TEL. 03－6366－7777）

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異、特別損益の計上及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ

平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）において、平成 25 年 11 月 11 日に公表した平成 26 年 3 月期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたとともに、下記のとおり、特別損益、及び繰延税金資産を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1．平成 26 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異、特別損益の計上
（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前　回　発　表　予　想（A） （平成 25 年 11 月 11 日発表）	百万円 69,000	百万円 2,500	百万円 1,800	百万円 1,500	円 銭 10.33
実　　績　　（B）	70,865	3,389	3,541	4,747	32.70
増　　減　　額（B－A）	1,865	889	1,741	3,247	－
増　　減　　率（%）	2.7	35.6	96.7	216.5	－
（ご参考） 前期実績（平成 25 年 3 月期）	百万円 65,289	百万円 △3,444	百万円 △3,529	百万円 △28,827	 △198.52

【修正の理由】

売上高、営業利益につきましては、鋼索鋼線事業において、ロープ、ワイヤ、繊維ロープの各分野において需要が堅調な推移を示したことにより、また開発製品事業において、主に雪害対策製品が増加したことにより、前回発表予想を上回りました。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、主に外貨建債権の期末為替レートによる評価替えで 848 百万円の為替差益（内、当第４四半期連結会計期間 315 百万円の差損）を計上したことにより、前回発表予想を上回りました。

当期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、特別利益に投資有価証券売却益 1,342 百万円（内、当４四半期連結会計期間 487 百万円）を計上し、特別損失に平成 26 年 2 月 7 日に公表いたしました東綱スチールコード株式会社和歌山分工場閉鎖に伴う損失等 713 百万円を事業構造改革費用として当第４四半期連結会計期間に計上いたしました。又、「２．繰延税金資産の計上について」に記載の通り、法人税等調整額を△967 百万円計上したことにより、前回発表予想を上回りました。

2．繰延税金資産の計上について

平成 26 年 3 月期及び今後の業績の動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額を△967 百万円計上いたしました。

以　上